



SEMINAR

宮崎 晃臣ゼミナール

宮崎ゼミナールでは前期に川崎市の区ごとに班を分け、産業動向や人口動態（特に高齢化の進展）等を調べ、その成果をオープンキャンパスで発表しました。その中で培った分析手法を活かして、後期では各自興味があるテーマを設定し、ゼミナール研究論文に取り組んでいます。ゼミナールを通して情報を集め、考えをまとめ、発表する力が少しずつついてきたと感じています。



3年 渋谷 菜々子さん

SEMINAR

谷ヶ城 秀吉ゼミナール

谷ヶ城ゼミナールでは日本とアジアの経済史を学んでいます。はじめに文献を読んで経済史の基礎的な知識を得た後、他大学との合同発表会に向けてグループごとにテーマを決め、研究を進めます。ゼミは和気あいあいとした雰囲気、ゼミ生が意見を述べやすい環境となっています。難しいと思うことも多くありますが、以前よりプレゼンテーションや資料を作成する力が身につく、自分自身の成長を実感することができます。



3年 青木 直美さん

SEMINAR

清水 真志ゼミナール

清水ゼミナールでは、学生が主体となって、毎回異なるテーマに沿った長時間のディスカッションを行っています。相手の意見をしっかりと受け止めて、その内容を正しく理解した上で自分の意見を投げ返せるように、言葉のキャッチボールの能力が鍛えられました。おかげで私自身、人前でのプレゼンテーション能力にはかなり自信がつけました。ゼミナールは、楽しい仲間と出会うことができる素敵な場所でもあります。



4年 松田 大成さん

STUDENT INTERVIEW



財政学を通して、ディベート力やプレゼンテーション能力を獲得できる

徐一審ゼミナール 3年 土居 優真さん

私は人前で話すことが好きで、自分のプレゼンテーション能力をさらに向上させたいと思っていました。そのため、プレゼンや討論に力を入れているゼミナールを選びました。徐一審ゼミナールでは、学生一人ひとりの自主性を重んじています。自らが興味を持った内容をグループで自由に研究、討論し、ゼミ内でプレゼンを行なっています。3年次には、グループ研究の集大成としてプレゼンテーション大会に出場します。また、横のつながりだけでなく、縦のつながりを大切にしており、ゼミナールは2~4年生合同で活動を行なっています。そのため、プレゼン方法や、研究内容について先生や先輩から細かくフィードバックをもらうことができ、ゼミナールでの活動を通して自分の長所であるプレゼンテーション能力は伸ばすことができ、さらに短所であった人をまとめる力や問題意識を養うことができました。徐ゼミナールは自分自身を高めることができる場所です。